

## 2016年度 第3回

### 日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会 議事録

日時：2016年11月28日（月）18:30~20:30

場所：明治学院大学白金キャンパス 社会学部附属研究所会議室

出席者（敬称略）：■出席、□欠席

■久保美紀 □大島巖 □高山直樹 ■荒井浩道 □岡田哲郎 □小野孝嘉  
□今泉礼右 □北本佳子 ■金成垣 □小林理 □佐藤信人 □眞保智子 ■田嶋英行  
■月田みづえ ■豊田宗裕 □贅川信幸 □林浩康 □菱沼幹男 ■保正友子 ■丸山晃  
□室田信一 ■山口麻衣 □山下興一郎 □山田知子 □六波羅詩朗 □渡邊浩文  
■由良亮人（事務局） ■耕田昭子（事務局）

【報告】：

#### 1. 各部会活動報告

特になし

#### 2. その他【久保氏報告】

理事会が12月10日に開催されるので、大会概要を報告する。

【議題】

#### 1. 2016年度関東地域部会研究大会について

○会場について

実行委員長 久保担当理事

懇親会について 会費 2,000円

○大会テーマについて【田嶋氏報告】

- ・基調講演（伊藤亜紗氏）・シンポジスト（本間照雄氏、ヴィラーク・ヴィクトル氏）についての紹介
- ・コメンテーター、コーディネーターは、大会担当運営委員が担当する。

○自由研究報告について【丸山氏報告】

昨年度までの流れについて説明される。

・募集要項について

1月下旬ごろに希望者の締め切り、2月初めに要旨締め切りとなる。

受付窓口の担当者が、要旨をチェックする。なお、締め切り以降の要旨の差し替えは不可。

親学会とは異なり若手研究者を育てていく場として利用されてきたこと、発表した院生の感想

のなかに、方法論等を鋭く指摘され研究を練り直す機会になったというものがあったことなどが紹介され、報告時間等について意見交換がなされた。審議の結果、2016年度は昨年度同様の時間配分で行い、要旨の体裁については一部工夫することとなった。なお、締切等の期日については、大会担当委員で決定する。

## 2. 研究大会奨励賞

奨励賞の審査員は、大会担当委員ではなく独立している。内規によれば、研究報告部門の報告者に、奨励賞のエントリーの有無について確認し、審査対象とすることになっている。

審査基準として、社会福祉学領域とし、人材養成を趣旨のひとつとしている。若手研究者の捉え方については、年齢のみで限定するのではなく、研究歴を考慮することが確認された。

副賞金額は3万円で、授賞人数についての規定ない。

→以上の流れについて、承認される

## 3. 社会福祉学評論、編集委員会

昨年度までの課題を踏まえて、編集事務局業務を外部委託することになった。編集過程の手続きについては、9月開催の編集委員会の決定事項を運営委員の先生方に連絡済み。

投稿数は、2015年度は13本であった。現在4本修正査読中である。

年度の後半に投稿が増えている。今年度は、9月末締め切り分が3本で、次の締め切り12月末である。

## 4. 広報委員会

○ニューズレター

○ホームページについて【荒井氏報告】

1日に160程度のアクセスがある。

メールマガジンを配信した日は、アクセス数は増える。

○メールマガジン 担当岡田氏

・1年3回、岡田先生が作成し事務局から会員に配信する。

## 6. 次回運営委員会

2017年3月11日（土）の予定。

記録：事務局